



6月議会へ 総括質問 (長谷川剛議員)

電気代値上げ 福祉灯油のような支援できないか

市長「国・県の動向に合わせて対応検討する必要がある」と考える

鶴岡市議会6月定例会が4日に開会され、日本共産党を代表して長谷川剛議員が、①防災、②庄内看護専門学校、③観光、④経済について、総括質問を行いました。

市の防災計画見直す必要は

問 能登半島地震は、も目立つ。震度7という巨大地震に加え、地理的な条件も重なり、復旧・復興が進んでいない。災害関連死も増え、寒い中、車中泊などで体を伸ばして眠ることもままならなかった生活環境、また、避難所での感染症での関連死

津波注意報が発表された際にも、沿岸地域に避難指示を発令するよう、見直しを行っている。広域避難のあり方や受援体制の構築、仮設トイレの課題と、災害関連死の防止も含め、地域防災計画の必要な修正を検討していく。二次避難所は、保温

訪問介護事業所が潰れる前に

▽6月3日に、全日本民医連などが訪問介護報酬引き下げ撤回・再改定を求めている要請書を厚労省・財務省に提出、衆議院議員会館で院内集会も開かれたことが、しんぶん赤旗で報じられました。

小規模な事業所は取得が難しい上、取得したとしても事業所の収入にはなりません。▽そもそも訪問介護事業所は、コロナ禍で利用者が激減、かねてからの人手不足もあいまって、県内でも事業所の廃止が急増しています。県に照会したところ、2019年から22年にかけて43事業所(内、鶴岡市14)。今年5月現在の事業所数が222ですから実に6分の1強に及びます。

▽今年度の介護報酬改定で、訪問介護の基本報酬が2〜3%も引き下げられました。厚労省は「訪問介護の利益率が介護サービス全体平均を上回っている」「基本報酬を下げて職員処遇改善加算を引き上げる」と主張しました。

▽処遇改善加算の引き上げ額は「平均月額で6千円」となると、鶴岡のある事業所の経営者の方は「0が1つ少ない。これでは人は集まらない」と憤りました。

しかし、のべ訪問回数が月2001回以上の事業所群の利益率が13・2%であるのに対し、月2000回以下の事業所群は1・2%と大きな格差があります。引き下げは、地域を一軒ずつまわる小規模な事業所は潰れても構わないと言

これ以上訪問介護事業所が潰れないようにするには、自民党政治を終わらせることが一番の対策に違いありません。

うものです(以上、全日本民医連資料から)。処遇加算についても、

(県議 関 徹)

マットや毛布、携帯トイレ等、及び食料を保管し、定期的に備蓄状況の確認も行っている。避難期間が長期となる場合は、市及び県と事業者との協定に基づき、二次避難所へ物資の搬送を要請する。

本市における能登半島地震の際には、二次避難所で備蓄物資が不足したため、職員が食料や段ボールベッドなどを届けた。避難者のニーズを把握し、備蓄物資の保管と提供のあり方について検討する。

庄内看護専門学校の定員確保策は



新校舎完成予想図(学校HPより引用)

「大学全入時代」を迎え、専門学校の看護学生確保は、相当厳しい。推薦入試を令和5年度までは「鶴岡市・庄内町の高校」としていたが、6年度からは「山形県内の高校」、さらに7年度からは「隣県の高校のうちから本校が指定する高校」も加えられる。

これまでは「推薦入試」と「一般入試」の2つの区分だったが、来年度から「社会人入試」枠を設け、一般試験よりも試験科目を少なくする。6年度からは「つるおかエール」による奨学金返済支援制度の対象に、これまで対象外だった庄内病院の看護師・助産師も加えている。

卒業後、鶴岡市内の医療機関に就業した場合は、何らかの支援措置を講じるなど、地元就職を後押しするような仕組みも検討していく。(2面につづく)

羽越線降雪・強風対策と高速化は

問 羽越本線が全線開通から100周年を迎えたが、近年では、利用者の減少が続ぎ、JR東日本管内でも最も赤字額が多い路線として公表されている。冬季間は降雪や強風によりしばしば運休が続く。

これらへの対応や、速達型の特急いなほの新設による所要時間の短縮など、今後の見通しはどうか。

マリカ一階の観光案内所の利用者数と、外国人観光客の動向はどうか。
市長 羽越本線100周年を記念し、秋には市民向けのイベントも準備している。
観光案内所の利用は令和5年度1万7948人で、前年比136%と徐々に回復している。



羽越本線を走る特急いなほ (長谷川剛市議撮影)

374%であり、国別では欧米や台湾からの個人旅行者が多い。高速化にむけた整備

第2回消費喚起クーポンの結果は

問 市民生活は、生活必需品の値上げが相次ぐ一方で、実質賃金は24カ月連続で、実質消費支出は13カ月連続で前年同月を下回っており、賃上げを大きく上回る負担増になっている。

市民生活や中小企業の支援はどう考えているか。
7月からは新紙幣に切り替わるが、それに伴い設備更新などが必要になる。
この夏も猛暑が予想され、電気代は、東北電力管内でも使用量が平均的な家庭で8855円、前の月と比べ

には多額の投資が必要になるため、引き続き沿線自治体と連携し粘り強く要望していく。

ベ419円の値上げになると発表されている。

エアコンの使用控えにより、熱中症も心配され、低所得者世帯に支給される福祉灯油のような支援をできないか。

市長 中小企業への長期安定資金、無利子融資や保証料等の金融対策のほか、「がんばる中小企業応援事業補助金」等により、賃上げ等に波及するよう生産活動を支援する。

灯油購入費助成事業は県の事業を活用しており、電気代支援についても、国・県の動向にあわせ、対応を検討していく必要があると

市長 取扱店舗の最終換金締切日の6月17日以降に集約・分析を行う予定だ。

第1回事業の利用率は90・4%で、共通券が96・0%、飲食券が84・9%だった。
取扱店舗は、第1回事業で965店舗、第2回事業で991店舗が参加した。
引き続き経済情勢や国・県の動向等を注視しながら、商工団体等と連携し適切な対応に努める。

都市計画課入札結果 () 内は予定価格

5月30日入札分

・赤川かわまちづくり事業上流域エリア測量設計業務(黒川ほか地内)(入札27業者うち13業者辞退、1業者無効)
(株)三協技術山形支店 6,180,000円(7,930,000円) 期間~7/3/21(落札率77.93%)

建築課入札結果 () 内は予定価格

5月30日入札分

・中央公民館空調設備改修工事設計業務委託(みどり町22-36)(入札12業者うち1業者辞退)
IT0designs合同会社 2,800,000円(3,702,000円、最低制限価格2,767,000円) 期間~12/20(落札率75.63%)
・小真木原野球場室内練習場照明器具改修工事(小真木原町2-1)(入札16業者うち1業者無効)
(株)デンケン 9,670,000円(9,970,000円) 工期~7/19(落札率96.99%)
・羽黒体育館研修室空調機器改修工事(羽黒町荒川字谷地堰29-1)(入札7業者)
(株)エスパー 1,580,000円(2,000,000円) 工期~7/11(落札率79.00%)
・鶴岡市本庁舎屋上防水改修工事(馬場町9番25号)(入札8業者うち1業者辞退)
(有)榎本塗装工業 20,700,000円(20,980,000円) 工期~9/12(落札率98.67%)

土木課入札結果 () 内は予定価格

5月30日入札分

・市道松尾今野線防雪柵設置工事(羽黒町後田地内)(入札2業者)
(株)丸元建設 12,540,000円(12,670,000円) 工期~11/29(落札率98.97%)
・都市計画道路3・4・19号山王町本町線歩道設置工事(本町一丁目地内)(入札2業者)
(株)佐藤工務 41,300,000円(41,780,000円) 工期~11/29(落札率98.85%)

社会教育課入札結果 () 内は予定価格

5月30日入札分

・史跡松ヶ岡開墾場貯桑土蔵半解体工事(羽黒町松ヶ岡字松ヶ岡25)(入札3業者)
笠原建設工業(株) 25,400,000円(25,630,000円) 工期~7/3/18(落札率99.10%)

雨水事務室入札結果 () 内は予定価格

5月29日入札分

・市公共下水道事業 雨水道形第1排水区1156・1175号新設工事(宝田一丁目地内)(入札7業者うち1業者辞退)
(株)佐藤組 26,250,000円(27,080,000円) 工期~7/1/31(落札率96.94%)
・市公共下水道事業 雨水茅原第2幹線2002号新設工事(茅原町地内)(入札5業者うち1業者辞退)
有賀建設(株) 21,250,000円(21,950,000円) 工期~7/1/31(落札率96.81%)
・市公共下水道事業 雨水九分溝排水区2113号新設工事(大西町地内)(入札6業者うち3業者辞退)
小野寺建設(株) 44,000,000円(44,930,000円) 工期~7/3/7(落札率97.93%)

5月28日入札分

・市公共下水道事業 雨水道形第1排水区調査設計業務(宝田地内)(入札6業者うち1業者辞退、1業者無効)
(株)三協技術山形支店 10,500,000円(15,270,000円、最低制限価格9,918,200円) 期間~7/1/31(落札率68.76%)